



[ei,ei]

「自然や環境」のことに触れなくなったり、
ライフスタイルを考えたりするヒントが
この「エイ・エイ」の中に入っていますヨ。

CONTENTS

- ◆レポート:森づくりの「仲間たち」を紹介し
ます。
- ◆情報交流コーナー:あま・あま・ポン
・うんぱく、ふれあいの祭典、
ニフェス、あまがさき物語
・尼崎21の森の歌の紹介
- ◆尼崎21世紀の森LIFE:
・成良中学OG 山本仁湖さん
海外環境発表の報告
・「はばタンアリーナ25」で
スイミングを学ぶ



「エイ・エイ」
環境とライフスタイルを考えるフリーマガジン 2014年2月1日発行 NPO 尼崎21世紀の森 <http://www.amashin21mor.net/>

「あましん」 地域の環境文化の創造活動を紹介します。

「第3回 あましんグリーンプレミアム」の最優秀賞や各部門賞が決定しました。

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する技術や製品・工法・取組みやアイデアについて表彰をするものです。地域のみなさまが行っている環境への取組みにスポットをあて当金庫独自の表彰を行い積極的に発信していくことを通じて、環境文化の創造に繋げて行くことを目的としています。当金庫は、今後も地域金融機関として商品・サービスの提供やCSR活動を通じて、地域の環境保全にも主体的な役割を担っていきます。

- ◆環境事業部門(事業者を対象)
- ◆環境活動部門(法人・個人・団体を対象)
- ◆環境アイデア部門(法人・個人・団体を対象)



橋本博之理事長/福田光男(株)ライトニックス代表取締役会長


「第3回あましんグリーンプレミアム」の最優秀賞は、(株)ライトニックスの「人と環境にやさしい植物由来の樹脂製医療用針」が受賞しました。同社が開発した医療用針は、蚊の針を模して皮膚に刺さる部分をギザギザにし接触面積を小さくすることで痛みの少ない構造になっています。また、植物由来の樹脂製針なので、使用後は焼却することができ、環境への負荷が少ないことが高く評価されました。

尼崎21世紀の森 あましん植樹祭

平成25年10月19日「尼崎の森中央緑地」で、『あましん植樹祭』を開催しました。第1回定期積立定期預金『どんぐりの木』に加入された「苗木の里親」のみなさまをはじめ、公募で集まっていたみなさま、当金庫役職員を合わせた約1,300名が「あましん活動の森」で、ウバメガシ・コナラ・クヌギなど2,400本の苗木の植樹を行いました。尼崎市内だけでなく遠方からも多数ご参加いただき、お孫さんと一緒のお客さまは「孫と一緒に苗木を2年間育てました。苗木が、立派な森に育って行く日が楽しみです。」と育てていただいた苗木を手をうれしそうにお話されていました。ほんとうに、植樹いただいた苗木が大きく育ち、将来、緑いっぱいの森になるのが楽しみです。



「尼崎21世紀の森づくり」を応援しています。

 **尼崎信用金庫**

AMASHIN

<http://www.amashin.co.jp>

あましん 検索





心地よい疲れも森づくり
「日本山村硝子(株)」
 社員の皆さんから植樹をした感想を送っていただきました。
 ・苗木の成長が楽しみです。
 ・来年は預かっている苗木を植樹するのでさらに感慨深いものがあるかも。なぜかおしりが筋肉痛になった。
 ・植樹後ものすごい眠気に襲われました。それだけハードな作業なんですね。普段はなかなか味わうことができない「労働の後の心地よい疲れ」を提供できたのだと思います。(参加タイプ ■ エリア設定の森づくりと ■ 苗木の里親制度)

愛情いっぱい里親苗木
「株クボタ阪神工場」
 中央緑地のすぐ南側にある工場で苗木を育苗中。苗木を管理している職員の方は、「ゴールデンウィークなど長期の休みでも苗木のために出社。また、

人生によりそう森
「一般家庭の苗木の里親さん」
 平成21年から始まった苗木の里親制度。現在3千5百名の方が里親になっています。その植樹会もすでに11回開催し、約9百名の里親さんが植樹をしま

参加タイプ ■ エリア設定の森づくり/対象:企業、学校、団体等
 活動エリアを設定し、植樹から草刈り、間伐などを行う。
 参加タイプ ■ 苗木の里親制度/対象:個人、企業、学校、団体等
 苗木を1~2年間預かって育て、中央緑地に植樹する。尼崎スポーツの森の売店、尼崎信用金庫の市内各支店やイベント等で募集中。
 ※森づくりの活動日に参加/対象:誰でも参加できます(申込不要)
 毎月第1日曜日と第3金曜日で森づくり活動に参加。
 ※イベント型/対象:イベントを開催したい団体等
 中央緑地のエリアでイベントを実施できます。今まで、音楽や植樹イベントを開催。
 お問合せ 兵庫県阪神南県民局尼崎港管理事務所
 TEL.06-6412-1361

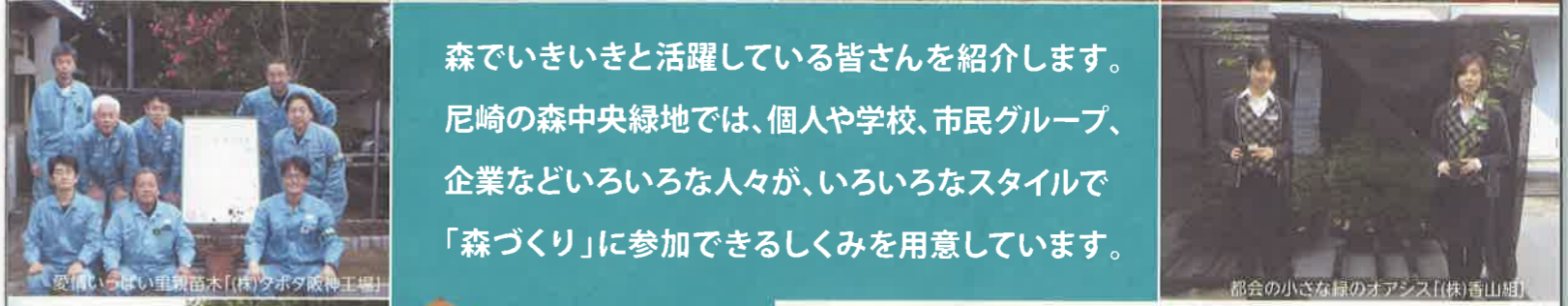


見て、エンジンがかかり、大きな雑草を一生懸命抜いていました。(参加タイプ ■ エリア設定の森づくりと ■ 苗木の里親制度)
 地域の縁で森づくりの資材入手
「あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会」
 「あまがさき環境オープンカレッジ」の森の特色は、参加者の皆さんで材料の「稲わら」を手に入れ「マルチング」を敷設したことです。植樹した苗木の周りに稲わらなどを敷き詰めることを「マルチング」と言い、雑草防止や保湿効果があり苗木の生育が良くなります。今回、尼崎市内農家から稲わらを提供してもらい、充実した森づくりができました。(参加タイプ ■ エリア設定の森づくり)

巣箱プロジェクト始動
「尼崎市立成良中学校」
 昨年の3年生が植樹した森を、今年の1年生が引き継ぎ、森づくりを続けています。さらに、植えて7年がたつ「じまりの森」の成熟度を測るため「巣箱プロジェクト」を進めています。鳥(シジュウカラ)の営巣が森の成熟度を測る指標となります。今後の営巣が楽しみです。(参加タイプ ■ エリア設定の森づくりと ■ 苗木の里親制度)

ハイテク育苗施設
「(公財)尼崎地域産業活性化機構」
 阪神尼崎駅近くにある尼崎中小企業センターの3階屋上庭園で育苗中。ソーラーパネルで自動灌水のタイマーを動かしているエコ&ハイテク施設です。先日、苗木の一部を職員の方々に植樹しました。(参加タイプ ■ エリア設定の森づくりと ■ 苗木の里親制度)

「あなたの物語」をつくる森
 森づくりに参加することで、日常生活では出会わない方と出会う、新たな縁が生まれたり、子どもたちに自然への関心が芽生えたり、若者の新たなイノベーションが起きたり、高齢の方の生きがいとなったり、いろいろな物語が生まれています。あなたも森づくりに参加して、「森である自身の物語」をつくってみませんか?



森でいきいきと活躍している皆さんを紹介します。
 尼崎の森中央緑地では、個人や学校、市民グループ、企業などいろいろな人々が、いろいろなスタイルで「森づくり」に参加できるしくみを用意しています。

森づくりレポート
 守 宏美(もりひろみ)
 ・兵庫県 阪神南県民局 尼崎港管理事務所/尼崎21世紀プロジェクト推進室技術職(造園)
 ・中央緑地の森づくりに関わって11年。



森づくりの「仲間たち」を紹介します。

尼崎の森中央緑地

森づくりの力強いパートナー
「尼崎信用金庫」
 兵庫県と森づくりに関する協定を締結し、森づくりの取り組みを広げます。その一環として、毎年秋に5百~千名もの参加者が植樹を行う「あましん植樹祭」を開催。この日はあましの職員がリーダーとなり、参加者に植樹指導や森のレクチャーを行います。

また、尼崎市内各支店では「苗木の里親コーナー」を設置し、森づくりにへの参加を呼びかけています。

7年前から中央緑地の森づくりに取り組んできた市民団体で、毎月2回の森づくり活動の運営をサポートしています。いつも和気あいあいと森づくりを進めています。

小学生の環境体験学習では、「セミはどこに卵を産むでしょうか?」や「木を植えるのは人間にしかできない尊い仕事だよ。」などと語りかけ、子どもたちに自然との関わりを持つ大切さを伝えています。

除草に大活躍
「県立尼崎高校」
 夏に「けんあまの森」を、みんなで除草しました。苗木と区別がつかないくらい大きく育った雑草に突然、アマフォレストの会の皆さんに、「これ、雑草?これ、苗木?」と何度も尋ねながら除草をしました。

「虫こわい!」と大騒ぎしていましたが、苗木が雑草の間から救出される様子を



あー面白かった

うんぱく2013
尼崎運河博覧会 ウンガの面白さは、広がっていく。

平成25年10月5日(土)に「うんぱく2013」が開催されました。当初は10月7日(土)の予定でしたが、前日の天気予報の降水確率が50%になってしまいましたので順延を致しました。従いまして当初予定していた参加者の数は幾分少なくなりましたが、コンパクトな設営が功を奏しそれなりの賑わいが演出されたことは大きな収穫でした。ご来場して頂いた皆さんには十分に運河の楽しさや賑わいを味わっていただいたと感じます。

うんぱくも年々プログラムも充実し水辺のにぎわいもさることながら、今年はタンDEM自転車の試乗会も行い周辺のサイクリングもアピールができたのではと思います。



HPもチェック!
<http://ama21mori.net/>



ふれあいの祭典とコラボする「エコキッズメッセ」3万人の来場者が!



本年度のエコキッズメッセは、11月2日と3日に開催された兵庫県主催のふれあいの祭典の一部として、実施しました。約3万人のご来場者のうち20%程度の方において頂いた。

は思います。主に小学生を対象に各ブースではエコに関して色々な展示と体験会を行いました。NPOのブースとしては燃料電池を利用した模型自動車の走行や人力発電機を利用したおもちゃに触れていただきエネルギーの多様性を遊びの中で学んでいただきました。そのほか自動車メーカーの電気自動車の2台と尼崎市所有の改造電気自動車と尼崎産業短期大学の市販車からの改造電気自動車も展示を致しました。特に、自動車メーカーの展示では災害時に電気自動車の電池から家庭に電気を供給できる装置も展示されていました。



Amafes2013 (尼フェス) で「尼崎21世紀の森」の歌をヒロウし、植樹もしました!



平成25年10月20日(日)に今回で3回目の音楽イベント「尼フェス2013」が開催されました。中央緑地での植樹も合わせて行われ、コンサートに来られたみなさんには、あまりなじみがない植樹でしたが、多くの方に参加いただき楽しんでいただけたと思っています。イベント会場から来期にオープンする「パークセンター」の脇を通って、植樹場所に行ったのですが、ここ「パークセンター」を使って音楽イベントやコンサートもできますよと、お伝えすると非常に興味を持っていただきました。また、コンサートの合間にステージに上らしてもらって「尼崎21世紀の森」の取組み紹介とウクレレ伴奏付きで、出来たてホヤホヤの「尼崎21世紀の森」の歌を会場のみなさんと合唱しました。

あまがさき物語

【第14回】

【ひと咲き まち咲き あまがさき】

私は、香川県は小豆島の肥土山という村に住んでいました。父は、尼崎で大工の仕事をしており離れ離れの生活をしていました(小豆島に疎開していた)。

小豆島では、伝法川が天つる山で遊ぶのが日課でした。伝法川の水は、透明できれいでハヤ、フナ、ウナギなどを釣ったりモクズガニを獲ったりと、自然の中の遊びでそれは、それは楽しかった。怪我也よくして、足長バチに刺されることはよくあったが、スズメバチは怖い。1度刺され、ほんとうに痛かったことをよく覚えています。

そんな、楽しい生活が突然一変したのは、小学3年生の秋のことです。家が出来たので「尼崎」に引っ越すといわれ、学校や友達とも別れて、夜土庄港から今は無い、加藤汽船に乗って朝方、大阪弁天埠頭に到着。昭和33年10月のことです。電車は初めてで、車が多いのにビックリ。(小豆島では、ボンネットバスを1日何回か見る程度。環状線から阪神電車で阪神尼崎に降りたと思えます)。

1. 空気の悪いのにビックリ。(今も、喉が弱いのはこのため?)
2. 車の多さにビックリ。(道路を渡る時、タイミングを取るのに苦労する)
3. 黄色の草がやたらと生えているのにビックリ(小豆島では見たことがなくのちにセイタカアワダチソウと知る)

国鉄(現JR)の線路や空き地一面に咲く黄色の草は、圧巻でした。今では、随分と少なくなつたと実感しています。

庄下川は、北灘波小学校から尼崎文化会館に行く途中で悪臭を放つ汚いドブ川で「川」清流のイメージしかなかったのが汚いドブ川は、ショックでした。

川遊びなど到底考えられないうえに南部の工場地帯の煙突からモクモクとする黒煙(降下煤煙)で、ペランダの手すりが見づらく、母が洗濯ものがダメになるとよくぼやいていましたが、それは躍動のシンボルとして称えられていました。

公害の町尼崎、今は昔ですが、学生時代は、汚い川庄下川が流れる町でした。その印象が拭えぬまま尼崎で住み続けました。勤め先が京都(長岡京市)や三田市で、定年退職するまでそちらに活動の場があったので、尼崎への関心はなかった。

しかし、定年退職を期に地元尼崎を再認識する多くの機会(まちづくり井戸端会議、市民塾、あまがさき市報通して各種講座等)に出会いました。

そして、一番の驚きは、庄下川の変貌です。汚いドブ川が、清流とまではいえませんが綺麗な川となつて、両岸に遊歩道が整備され多くの人たちが楽しむ様は、もう公害の町でない、まさに「ひと咲きまち咲きあまがさき」やと思つていきます。

尼崎に来て50年「尼崎21世紀の森づくり」の100年計画も夢ではない。

(尼崎キャナルガイド 佐伯義徳)



尼崎キャナルガイド:尼崎運河を訪れる人たちのガイドサポート



庄下川:桜が満開の遊歩道。庄下川をキレイにすることが尼崎運河をキレイにするのに繋がります。



武庫川をテーマにした「癒しの川づくり」 「むこにやん広場」を整備しています。



猪篠川クラブ:篠川の清掃活動、外来植物の駆除

尼崎21世紀の森

のテーマ曲ができました。
みんながよく知っているポーランド民謡「森へ行きましょう」のメロディです。いろんなときにみんなで楽しく歌いましょう!



1 森をつくりましょう あまがさき(アハハ) わんがんの(アハハ) この場所に

苗木の里親 集まって(アハハ) 100年の(アハハ) 森づくり

(*)ランラララ ランラララ

ランラララ ランラララ

ランラララ ランラララ

ランラララ ランラララ

ランララ ラララ ラララ ララ

2 森をつくりましょう あまがさき(アハハ) 花の咲く(アハハ) 森つくり

みんなと一緒に 木を植えよう(アハハ) 楽しい(アハハ) 森づくり

(*)繰り返し

3 森をつくりましょう あまがさき(アハハ) 未来の(アハハ) まちづくり

自然がいっぱいの 森つくり

鳥たちも(アハハ) 歌ってる

(*)繰り返し

(*)繰り返し

What's 「尼崎21世紀の森づくり?」



尼崎臨海部にかつての自然環境＝美しさを取り戻したい。
日本の発展を支えてきた誇りを取り戻したい。
かつてこの地に存在した人間の活気を取り戻したい。

そんな願いを込めて、平成14年3月に
「尼崎21世紀の森構想」は、策定されました。それが尼崎市全体に
美しさと誇りと活気を取り戻すきっかけになれば、という希望を持って。

江戸時代



この尼崎には尼崎城という江戸幕府の直轄地であった、大坂の西の玄関口を守る重要拠点があったのをご存知ですか?

明治から昭和



この尼崎臨海地域が関西の重化学工業の中心集積地として、わが国の産業や経済の高度成長を支える役割を担っていた事をご存知ですか?

近年



巨大工場が建設され一時的に臨海部での産業の活性化に期待が高まるも、世界経済の波の中で再び冷え込んでいる事をご存知ですか?

一緒に尼崎21世紀の森づくりをしませんか!
編集スタッフを募集しています。

「環境とライフスタイル」を考えるフリーマガジン

エイ・エイ: 2014年6号(2月1日発行)
NPO 尼崎21世紀の森 Aa 編集局
ホームページ <http://ama21mori.net/>
〒660-0815 尼崎市杭洲北新町3-2-2 大信ビル3F
TEL 090-8233-4079

Chief Editor 岸本 幸三
Editor/Writers 阿部 利雄 由中 弘之 森上 恒
池田 和也 春田 孝文 藤原 悟
薄井 洋一 廣川 雅英 山口 東吾
作田 祥介 守 宏美
Designers 児玉 泰江 杉本さやか 竹岡 寛文
鳥山 大樹 ヒロコ・TG 山口 健太

Print ウニスガ印刷(株)

明治の初め



この瀬戸内海が「世界で最も魅力的な景観」と絶賛されていたのをご存知ですか?

昭和40年代



この尼崎市が国道43号・阪神高速神戸線とともに公害問題が深刻化し、「公害のまち」という不名誉な称号を与えられた事をご存知ですか?

「尼崎21世紀の森構想」

かつての自然環境＝美しさ
日本の発展を支えてきた誇り
人間の活気
を取り戻したい。



環境改善を利用した先進的な「まちづくり」それが『この尼崎21世紀の森構想』の本質です。
ナカナカ素敵な計画だと思いませんか?
100年間のこの計画、進めて行けるのは、
この尼崎が大好きな一人ひとりの市民、企業の皆さんなのです。

もろろん、10〜20年後に、この森構想の姿かどうなっているか私には知る由もないと思いますが、活動に参加しているみんなの姿と、今後この活動を引継いでいく若い世代の活動を頼もしく思いつつ、この「Aa」を紹介したいと思います。
(阿部利雄)

編集後記

福岡県の産炭地、いわゆる川筋で育ち、尼崎で働き、古希を迎える爺です。

大学を出て尼崎に来た昭和40年代は、公害問題が顕在化してきた時期で、昼間から突然暗くなるスモッグや運河の悪臭に閉口し、うまい酒・着を求めて、きれいな海・山へ出かけていました。

そんな中で、「尼崎21世紀の森構想」を知り、この地区で働いていた者として、少しでも構想実現に寄与できればと考え参画しています。

尼崎 21世紀の森LIFE



「尼崎の海、運河の改善から世界を変えたい!」

「尼崎の高校生、第10回EMECs国際会議でPR」

活動を初めたきっかけ

四年前、尼崎市立成良中学校に入学した私は、尼崎の環境を良くするために発足された「ネイチャークラブ」という部に所属しました。きっかけは「このクラブに入れば私でも何か良いことができる!」と思ったからで、世界平和など、そのような大きな事は考えていませんでした。

尼崎運河のヘドロ、なんとかせなアカン!

中学一年生の夏休み、活動の一つで私は尼崎運河の浄化活動に初めて参加しました。まず、運河をよく知らなかった私ですが、運河に沈殿するヘドロを見て、「これは何とかせなアカン!」と心から思いました。その浄化活動の拠点となる水質浄化施設は、生物の力と私たち人間の力を使って、水質を浄化す



山本 仁湖さん

兵庫県立国際高等学校(1年)

尼崎から世界を変えたい!

そこで、高校一年生となった今、EMECs国際会議に参加し、世界に尼崎運河を知ってもらおうと思ったのです。実際、私は外国に行くのが今回で初めてだったので、とても緊張しました。色々な国から来た方々の前で、私は「尼崎の海、運河の環境改善から世界を変えたい」と発表し、他国の方々の活動内容も聞きました。このとき私はこれだけ多くの同じ思いを持った仲間がいるのだと実感しました。

私はその仲間を大切に、そして何より、私がこうして活動をし、人生にまたとないチャンスを与えてくださった方々に感謝します。海外に出て発表するというのは、私にとってとても大きく、貴重な体験でした。今回得たものを今後の活動に生かし、より仲間を増やしていきたい、尼崎から世界を変えたいです。



※EMECs II 世界閉鎖性海域環境保全会議 閉鎖性海域の環境に関わる研究者を中心に 研究発表・情報交換する国際会議

はばタンアリーナ25 information

▼国内公認の25mプールで14コースあり、コース幅は2.5mのゆったりサイズで、隣を気にせずスイミング、水中歩行・運動を楽しめます。プールの深さは、可動式で0m〜3mに水深を設定できます。通常は、スイミングエリア1.2m、水中歩行エリアが1mに設定されています。プールの水質は非常に高く、水のキレイさに驚きます。

▼2008年の北京オリンピックにスペイン、チュニジア、トルコの三カ国が強化合宿を行っていたほどの素晴らしい施設ですが、ファミリーやシニア層の利用者がここで、一日ゆったり過ごされています。

▼スイミングスクールは乳幼児から大人高齢者まで、全世代の人々に水泳を通じて健康づくりのお手伝いをします。また、水難事故に対応できるよう着衣で泳ぐ「着衣水泳」の体験も行ってあります。

▼平成26年3月には「春休み短期水泳教室」を開催します。

▼お問合せ: スポレスト 06-64121164



スイミングインストラクター 濱村佳那子コーチ(右) 藤野綾美コーチ(左)

